

## 多発する水害の減災について

須藤 有紀（みどり21）



9月24日と25日に地域の被害状況を確認した際、地域で助け合いの精神を発揮された姿を数多く見かけました。ご尽力に感謝するとともに被災された皆さまにお見舞い申し上げます。

**国や県と連携した菊川流域治水プロジェクトにおける浚渫工事等の進捗状況を伺う。**

**国土交通省浜松河川国道事務所**では、令和元年度から令和2年度に、菊川、牛淵川、黒沢川、丹野川、上小笠川の5つの河川で約20万立方メートル、令和3年度は、菊川で約3万4000立方メートルの河道掘削を実施した。県袋井土木事務所では、菊川、富田川、丹野川、黒沢川、小笠高橋川の5つの河川で約7800立方メートルの河道掘削、西方川、江川の2つの河川で約3万5000立方メートルの雑木伐採を実施した。

**避難所を自主開設された自治会と市の連携は。また、水防団の派遣は。**

**開設地区の確認は、課題と**

考えている。地区防災連絡会で各地区から意見をいただき連携強化を図っていく。また、水防団の主な活動内容は通行規制時の交通整理等であるが、赤土地内で安否確認等も行った。

**実証実験を行っている田んぼダムの状況は。**

**掛川市**で13・6ヘクタールの田んぼに30センチメートルためた場合の実証実験を行い、水位の低減効果は約1センチメートルとされた。100ヘクタールとすると、低減効果は7センチメートルなので、田んぼダムは非常に安価で済むが広い面積を必要とする状況である。



台風15号の被害箇所

## 第17回マニフェスト大賞 躍進賞で優秀賞を受賞しました

**授賞式**

令和4年11月11日（金）

**会場**

六本木アカデミーヒルズ

**主催**

マニフェスト大賞実行委員会

**内容**

「躍進賞 優秀賞」受賞

全議員が2以上の委員会に所属し、議会活動を行いチーム議会で議会改革を推進

マニフェスト大賞は、地方自治体の議会、首長、市民等から地域の民主主義向上に資する優れた取り組みを募集し、表彰しています。これにより、地域で努力を重ねる方々に荣誉を与え、さらなる意欲向上を期するとともに、優れた取り組みが広く知られ互いに競いあうようにまちづくりを進める「善政競争」の輪を広げることが目的として開催しています。これにより政策本位の政治、生活者起点の政策を躍進させています。



令和3年1月の改選後、1人の議員がいくつもの委員会や委員長を掛け持つことがなく、全議員ができる限り均等に選出されるよう一部の委員会を除き、常任委員会から各委員会委員を推薦することとし、全員が役割をもって議会活動に協力する体制を整えました。また、各定例会後には反省点を出し合い、議会運営委員会から議会改革推進委員会へ改善点について諮問し解決策を検討するなど常に議会の改善に努めています。